

川崎市議会議員 いわくまちひろ

18歳選挙権と6月議会

民主みらい
川崎市議団

連載No.73

改正公職選挙法が成立しました。来夏の参院選から初適用となる見込みです。4月のコラムでは、高津区の長年に渡る低投票率について指摘し、「**主権者教育**」の重要性を指摘しました。また、時

票の重要性を学ぶことです。また、時局の課題について「**考える力**」も必要でしょう。

選挙権が18歳に引き下げられたことにより、若者の「主権者教育」がクローズアップされています。選挙権が18歳に引き下げられたことにより、若者の「主権者教育」がクローズアップされています。

「主権者教育」の根幹は、単に政治制度を学ぶだけでなく、政治生活と捉え、日頃から政治に対する関心や投



川崎市議会議員 ちひろ いわくま千尋

- 昭和50年生まれ 40歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業
ロンドン大学大学院研究生
専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！(8年8カ月)

ないのは、教育基本法第14条でも示されているように、政治的教養は教育上尊重されなければならないが、学校の政治教育が、一党一派の思想に偏ってはいけないことだ。

今後、高校生の中でも選挙権を持つ生徒と持たない生徒が混在することになります。様々な課題を今議会では議論していきたいと思えます。

改選後初となる市議会です。本市には、いまだ継続している中学生殺害事件の検証や簡易宿泊所の火災事故に関する問題など、全国に衝撃を与えた事件事故の検証と解決が何よりも優先されます。

先週のタウンニュースに市長特別秘書案件が記事になっていましたが、それよりも重要な問題は多々山積しています。今の川崎に必要なのは、市民のみなさんの安心・安否の暮らしを、地に足を着けた行政運営だと考えます。